

※詳細は商品に同梱包の取扱説明書を必ずご確認ください。

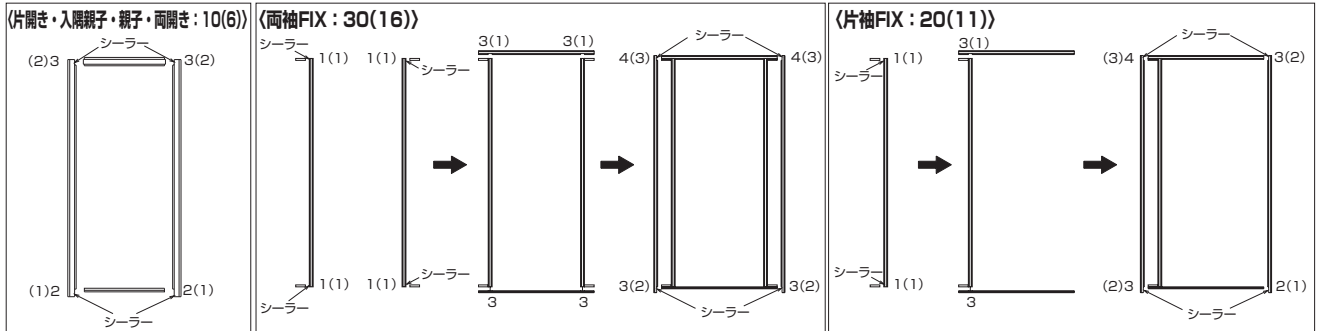
### ドア枠の組立

一覧

デザイン

#### 1. 枠組立順序

●数字はねじ本数、( )は穴塞ぎキャップの個数を表します。



DH=23

スリット採光  
デザイン(S)

小窓採光  
デザイン(K)

全面ガラス採光  
デザイン(G)

板張り  
デザイン(W)

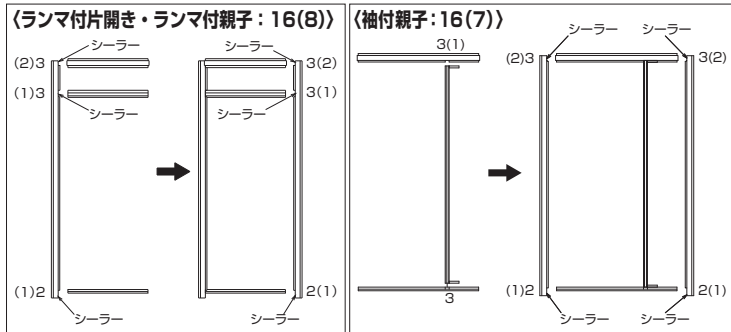
上部採光  
デザイン(U)

DH=20

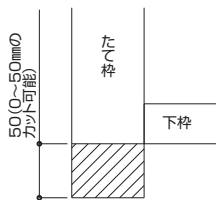
スリット採光  
デザイン(S)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

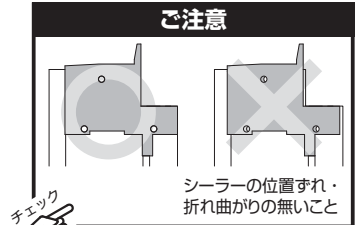
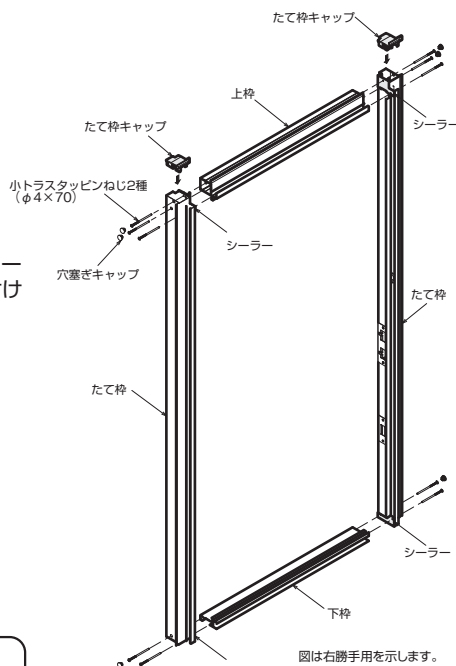


#### 2. 組立てる前に...



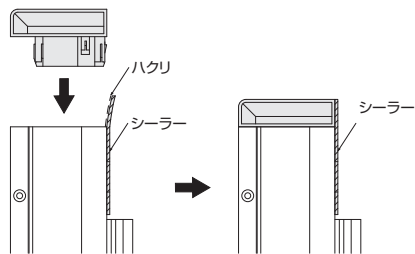
納まりに応じてたて枠下端をカットしてください。  
(切詰量: 0~50mm)  
フラット枠は、あらかじめ50mmカットしてあります。

#### 2 枠の組立



#### 1 たて枠キャップの取付

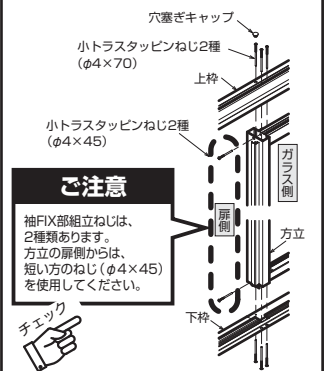
ドア枠の雨仕舞を確保するため、たて枠にはシーラーが貼ってあります。たて枠にたて枠キャップを取付けて、シーラーを貼り付けてください。



#### ポイント

たて枠キャップはドア枠組立前に取付けます。  
(ドア枠組立後は取付けできませんのでご注意ください。)

#### 袖FIX部

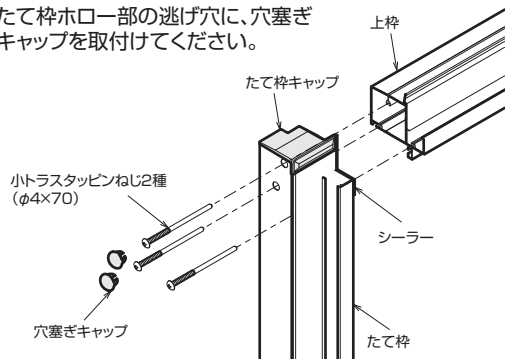


#### ご注意

袖FIX部組立ねじは、2種類あります。方立の扉側からは、短い方のねじ(φ4×45)を使用してください。

### 3 穴塞ぎキャップの取付

たて枠ホロー部の逃げ穴に、穴塞ぎキャップを取付けてください。



### ポイント

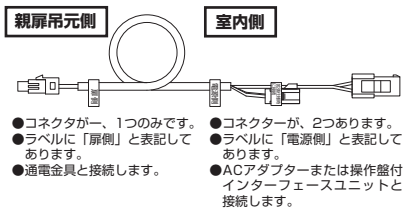
- RC・ALC納まりの場合は、別売品の四方枠用アンカーセットを取り寄せて、同梱包の説明書に従って取付けてください。
- 下枠幅木を取付ける場合は、別売品の下枠幅木に同梱包の説明書を併用してご覧ください。  
(ドア枠組立後は取付けできませんのでご注意ください。)
- アルミ室内額縁を取付ける場合は、別売品のアルミ室内額縁に同梱包の説明書に従って取付けてください。
- ドア枠に貼ってある養生テープは、施工中の養生となりますのではがさないでください。

### ■ 枠内配線コードについて

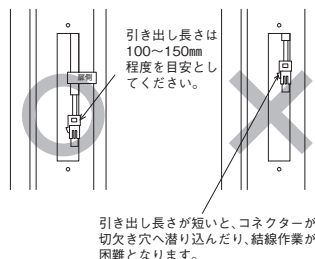
枠ユニットに枠内配線コード(5m)が同梱包されています。必ず、組立前に枠内に通してください。

#### お願い

① 枠内配線コードは、引き出し方向(親扉吊元側か室内側)によりコネクタが異なります。枠内に通す前に必ず、引き出し方向とコネクタを確認してください。



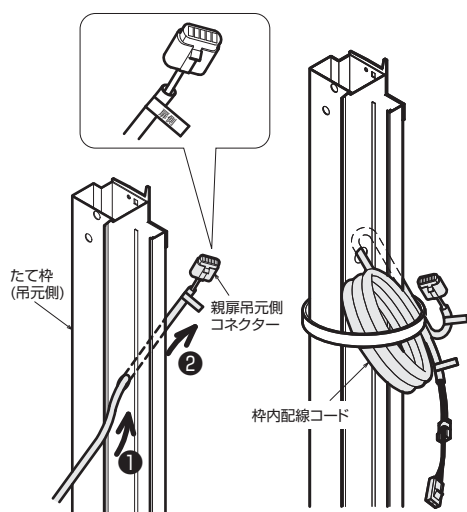
② 親扉吊元側コードは、コネクタ部を確実に切欠き穴から出してください。



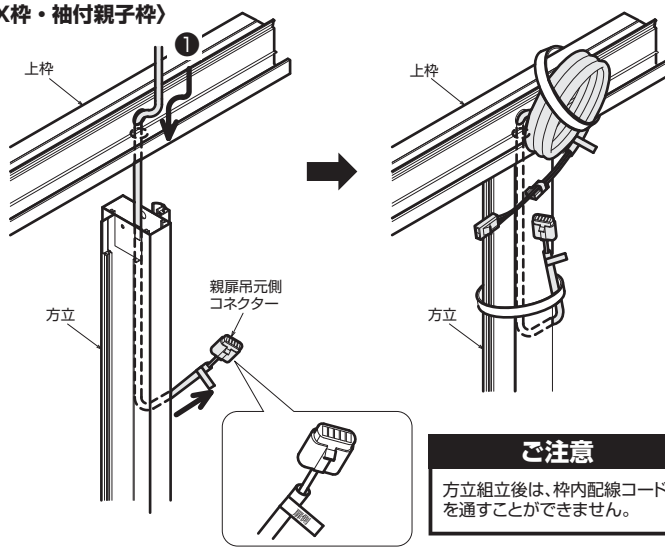
③ 枠内配線コードを通した後は、枠にキズをつけないようにテープ等でコネクタを固定してください。

④ 枠内配線コードのはさみ込みによる破損・断線等のないように注意してください。

#### 〈片開き・親子・片袖FIX枠〉



#### 〈両袖FIX枠・袖付親子枠〉



※詳細は商品に同梱の取扱説明書を必ずご確認ください。

### ドア枠の施工・調整

単位：mm

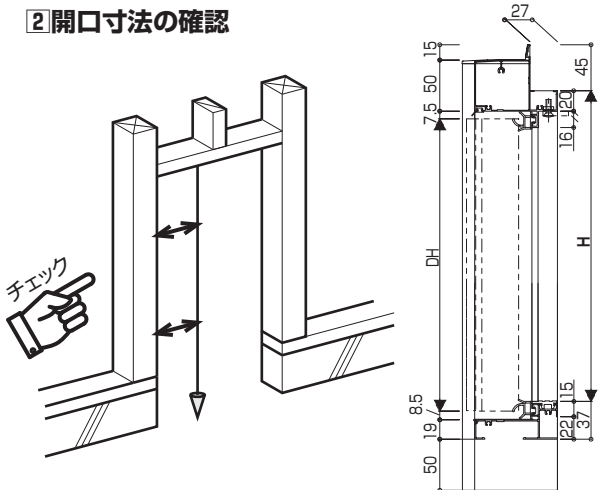
一覧

デザイン

#### 開口部の確認

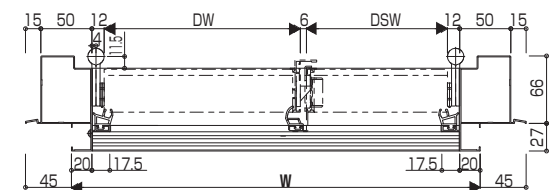
1 開口部のねじれ、水平、垂直を確認

2 開口寸法の確認



	W	a	b
3尺間口専用ランマ無		453	
3尺間口専用ランマ付	780	765	
3尺ランマ無		453	
3尺ランマ付	872	765	-
4.5尺ランマ無(入隅)		453	
4.5尺ランマ付(入隅)	1,135	765	
4.5尺ランマ無		453	
4.5尺ランマ付	1,235	765	
4.5尺(両袖FIX)	-	-	184
6尺(袖付親子)	1,640	-	408
6尺	1,690	453	-

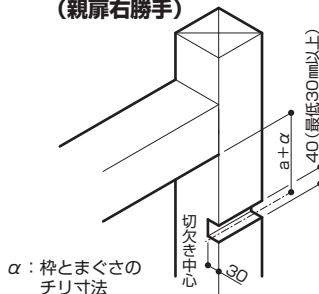
	H
DH=2,000ランマ無	2,018
DH=2,000ランマ付	2,330
DH=2,312	



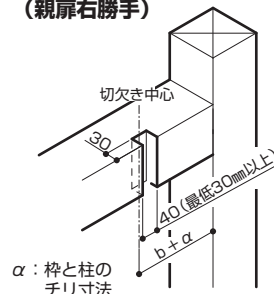
#### 3 柱・まぐさの切欠き

枠内配線コード取出口として躯体親扉吊元側の柱またはまぐさに1箇所切欠き加工が必要となります。切欠き加工の際は、事前に取付ける枠の種類および親扉吊元側を確認のうえ、表中のa、b寸法より切欠き中心位置を導き出してください。

##### ●柱切欠きの場合 (親扉右勝手)



##### ●まぐさ切欠きの場合 (親扉右勝手)



DH=23

スリット採光デザイン(S)

小窓採光デザイン(K)

全面ガラス採光デザイン(G)

板張りデザイン(W)

上部採光デザイン(U)

DH=20

スリット採光デザイン(S)

板張りデザイン(W)

上部採光デザイン(U)

電気錠仕様

特長

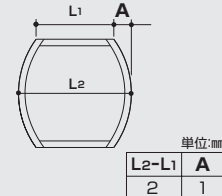
施工関連

発注記号

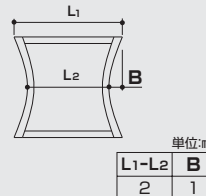
#### ドア枠取付精度

ドア枠取付精度が下記寸法以下になっているか確認し、調整してください。下記寸法を超えると錠がかからなかったり、性能が悪くなります。

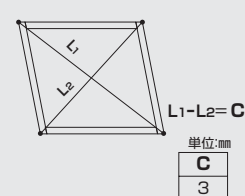
##### ●ドア枠のソリ(フレ)



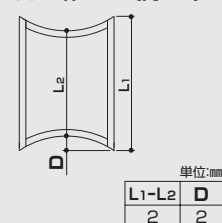
##### ●ドア枠のソリ(ツツミ)



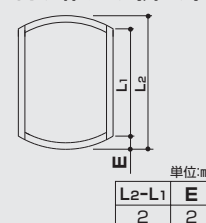
##### ●ドア枠の対角差



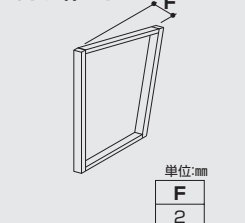
##### ●ドア枠のソリ(内ソリ)



##### ●ドア枠のソリ(外ソリ)

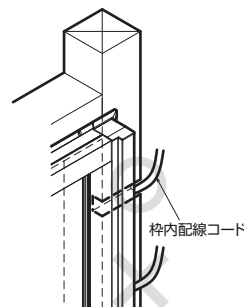


##### ●ドア枠のネジレ



#### ご注意

上図は木造納まりを想定した切欠き加工例のひとつです。施工の際は、実際の躯体構造に適した方法で枠内配線コードの取出口を確保してください。



枠内配線コードが枠に圧着した場合、断線のおそれがあります。

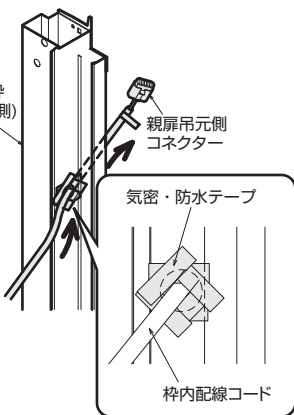
# ドア枠の取付

単位: mm

一覧

## 1 枠内配線コードの防水処理

枠内配線コードのコンネクターを枠から約50mm出した後、丸穴を気密・防水テープ等で塞いでください。



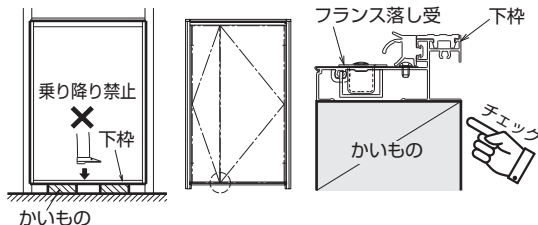
### ご注意

枠を躯体に取付ける前に、あらかじめ枠内配線コードを枠に通してください。枠を躯体に取付けた後では、枠内配線コードを通せません。

## 2 枠のはめ込み

### お願い

親子枠・両開き枠の場合は、枠取付作業前に下枠垂れ下がり防止対策として必ずフランス落とし受トロカパー下位置に、かいものを敷いて下枠を受けてください。下枠幅木を取付けた場合は、下枠幅木も受けてください。

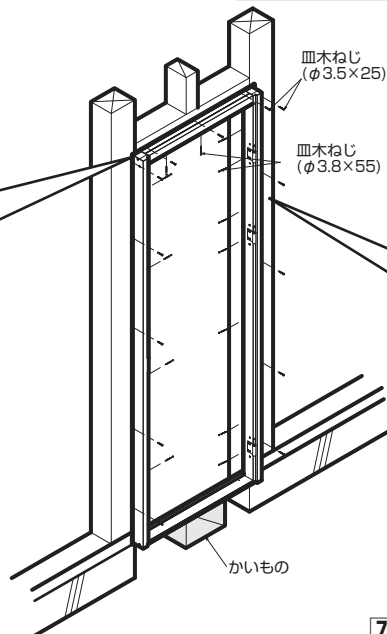
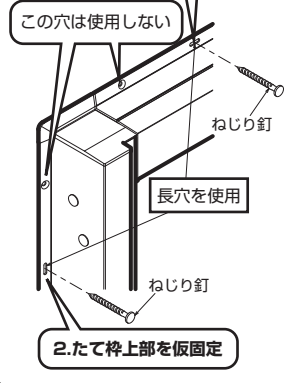


### ポイント

一般枠は、たて枠が下枠下端より50mm長くなっています。寒冷地下枠幅木仕様枠は、たて枠が下枠下端より86mm長くなっています。フラット枠は、あらかじめ50mmカットしてあります。

## 3 枠の仮固定

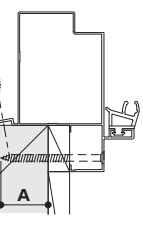
### 1. 上枠両端部を仮固定



## 4 たて枠(親扉吊元側)の固定

### ポイント

柱に、皿木ねじのかかりAが十分確保されていることを確認してください。



## 5 ドア本体の吊込み

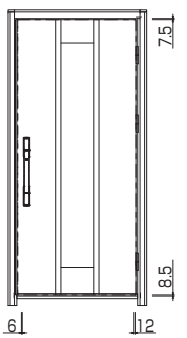
### ポイント

下側の丁番を先に合せてください。軸が他の丁番より長くなっています。



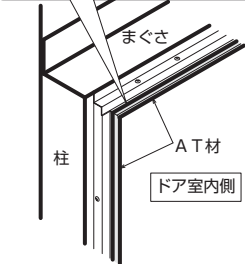
## 6 ドア本体と枠のチリ調整

### ドア枠のチリ寸法(mm)

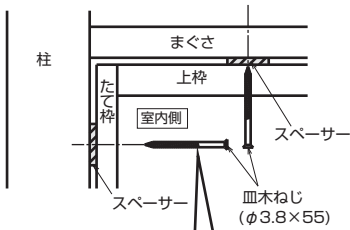


### AT材の密着

枠 AT 材が、ドア本体室内側面に密着するように上枠および戸先側たて枠の出入りを調整してください。必要に応じて仮止めのねじり釘をはずしてください。



## 7 枠の本固定

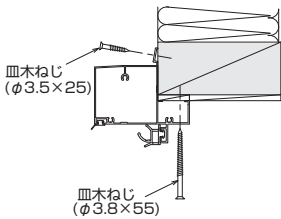


躯体と枠の間にスペーサーをはさみ、本固定

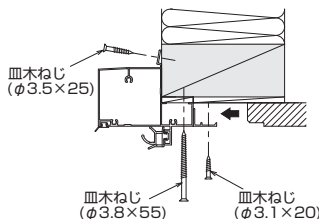
### ご注意

スペーサーをはさみずには固定しますと、枠のねじれ、こぼりの原因となりますのでご注意ください。

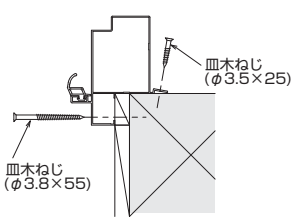
### 上枠部



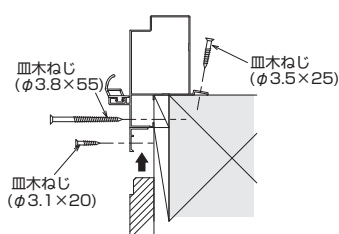
### アングル付上枠部



### たて枠部



### アングル付たて枠部



デザイン

DH=23

スリット採光デザイン(S)

小窓採光デザイン(K)

全面ガラス採光デザイン(G)

板張りデザイン(W)

上部採光デザイン(U)

DH=20

スリット採光デザイン(S)

板張りデザイン(W)

上部採光デザイン(U)

## 電気錠仕様

特長

施工関連

発注記号

※詳細は商品に同梱包の取扱説明書を必ずご確認ください。

### その他の取付・調整

一覧

デザイン

DH=23

スリット採光  
デザイン(S)

小窓採光  
デザイン(K)

全面ガラス採光  
デザイン(G)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

DH=20

スリット採光  
デザイン(S)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

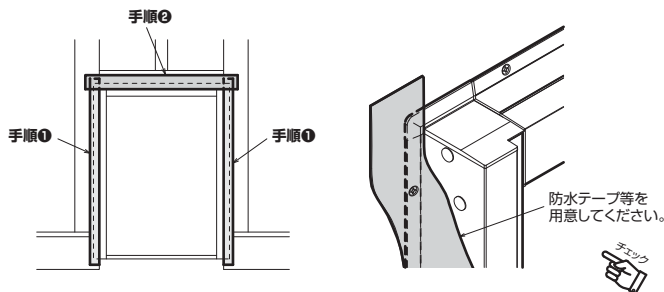
電気錠仕様

特長

施工関連

発注記号

#### 1 防水テープの貼付



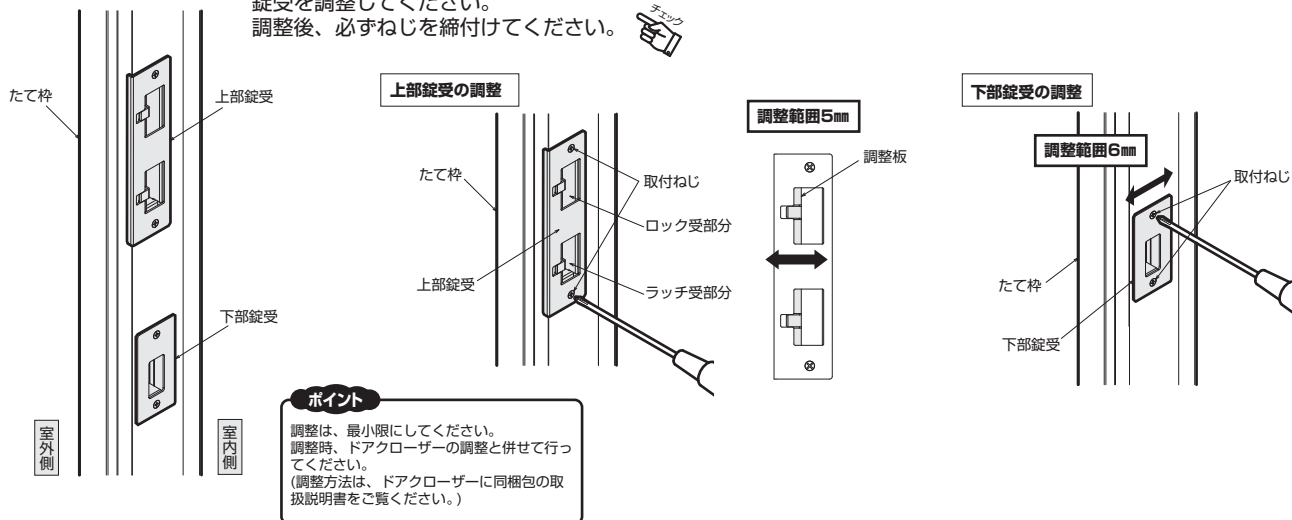
#### 2 ドアクローザーの取付

ドア枠固定後、ドアクローザーを取付けてください。  
(ドアクローザーユニット梱包内の取扱説明書を  
ご覧ください。)

#### 3 錠受の調整

##### ロックがかからない場合

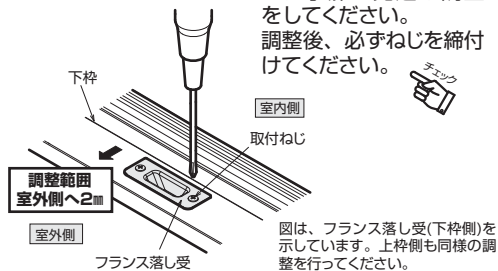
ロックがかかりにくい場合は、取付ねじをゆるめ、  
錠受を調整してください。  
調整後、必ずねじを締付けてください。



#### 4 フランス落とし受・ドアガード受の調整

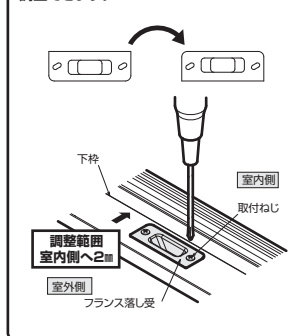
##### 錠受の調整をしても、ロックや ラッチボルトがかからない場合

フランス落とし受を調整し、子扉の見込み調整  
をしてください。  
調整後、必ずねじを締付  
けてください。



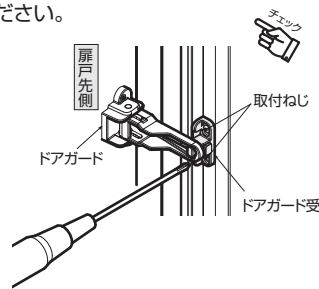
##### ポイント

フランス落とし受を反転させると室内側へ  
調整できます。



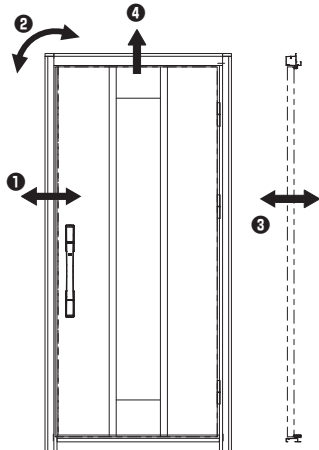
##### ドアガードがかからない場合

ドアガード受取付ねじをゆるめ、ド  
アガード受を上下調整してくだ  
さい。調整後、必ずねじを締付  
けてください。



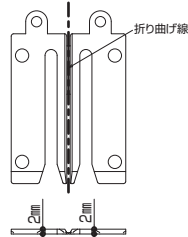
### 5 建付調整(電動ドライバー使用禁止)

枠を取付けた後、調整が必要な場合、丁番部で建付調整することができます。(丁番での調整は、あくまでも補足的なものであり、調整量には限界があります。)



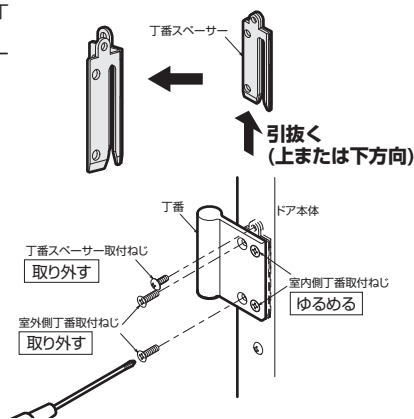
#### ①左右方向の調整(調整範囲：2mm、4mm)

- ①ドア側の丁番取付ねじ(4本)のうち、室外側の2本および丁番スペーサー取付ねじを外してください。
- ②残りの室内側丁番取付ねじ(2本)をゆるめ、丁番スペーサーを上または下方向へ引抜いてください。
- ③調整後、ねじを全て締付けてください。



スペーサーを切り離して使用…吊元側へ2mm  
スペーサーを使用しない…吊元側へ4mm

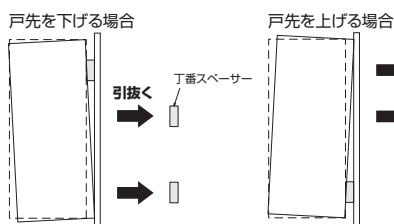
ラッチボルトが受けに届きにくい時は、丁番スペーサーセット(オプション) **BS-D-501** を使用してください。



#### ご注意

室内側丁番取付ねじは、外さないでください。  
扉が脱落する場合があります。

#### ②傾きの調整

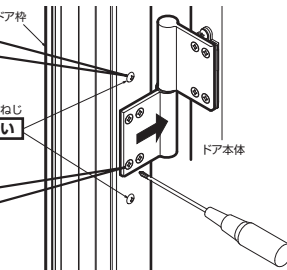


#### ③室外方向の調整(調整範囲：0~3mm)

①枠側の丁番裏板を止めているねじ(2本)をゆるめてください。

②丁番取付ねじ(4本)をゆるめて調整を行ってください。

③調整後、ゆるめたねじを全て締付けてください。

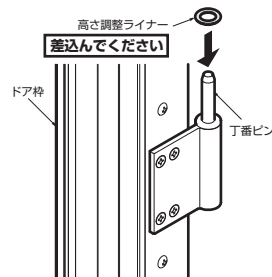


#### ご注意

丁番取付ねじおよび丁番裏板取付ねじは、外さないでください。  
扉が脱落する場合があります。

#### ④上方方向の調整(調整範囲：1mm)

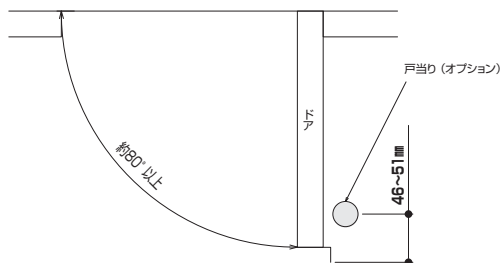
必要に応じてオプション品を手配し、調整してください。



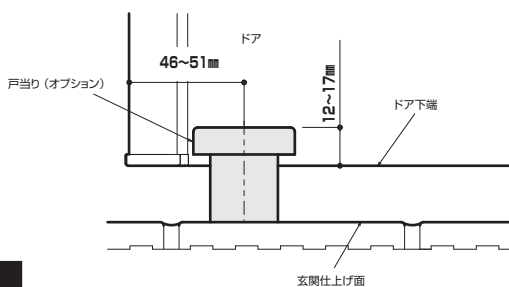
高さ調整ライナーセット(オプション)  
：各20個入  
<一般用> **BS-D-502**  
<住宅防火戸用> **BS-D-502B**

### 6 戸当りの設置(オプション)

バックチェック機構付ドアクローザー(オプション)と併せて使用し、開扉時のバックチェック調整範囲(約80°以上)に取付けてください。下図を参考に適正範囲内に戸当りを設置してください。



#### 〈幅木無の場合〉



#### ご注意

- 戸当りが適正に設置されない場合、破損やドア表面の凹みが発生するおそれがあります。
- 戸当りは、衝突による破損を完全に防ぐものではありません。無理な力でドアを開閉するとドア表面や戸当りの変形、破損の原因となります。

#### ※強風時のドアの開閉についてのご注意

強風時にドアを開けると、風圧により思わぬ力でドアが開くことがあります。勢いよくドアが開いて転倒などによるケガやドア・枠・外壁などの破損のおそれがあります。十分にご注意ください。  
枠・外壁などの破損を防ぐためには、戸当りを正しく取り付けることが有効です。

詳細図…P.167

# プロント

## 組立・施工説明書

※詳細は商品と同梱包の取扱説明書を必ずご確認ください。

### ドアクローザーの取付・調整

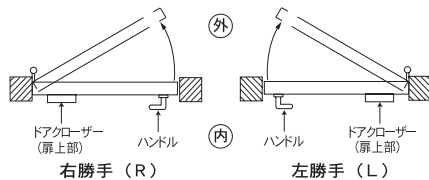
単位：mm

一覧

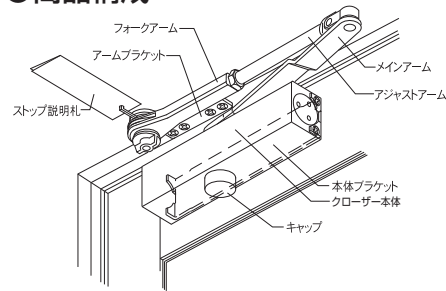
デザイン

#### ●はじめに

- ・ 本体および付属部品には左右勝手はありませんが、扉の開き勝手により取付ける向きが異なります。
- ・ この説明書は右勝手(R)について図示してあります。左勝手については本図と左右対称の位置となるように取付けてください。
- ・ クローザー本体は室内側に取付けてください。



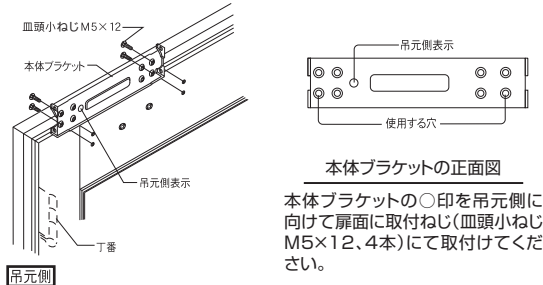
#### ●商品構成



皿小ねじ M5×12 本体ブラケット用 色無 (4本)	丸皿小ねじ M5×12 本体用 色付 (2本)	丸皿小ねじ M5×16 アームブラケット用 色付・面着剤付 (4本)	六角ボルト M6×1.4 ハネ座金・平座金付 色付 (1本)
-----------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------------

#### ●取付順序

##### 1 本体ブラケットの取付



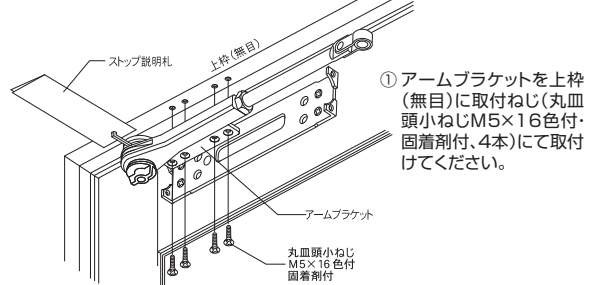
本体ブラケットの正面図

本体ブラケットの○印を吊元側に向けて扉面に取付ねじ(皿頭小ねじ M5×12、4本)にて取付けてください。

#### お願い

取付ねじはしっかりと締付けてください。締付けがゆるいと本体がぐらつき、落下・故障の原因となります。

##### 2 アームブラケットの取付

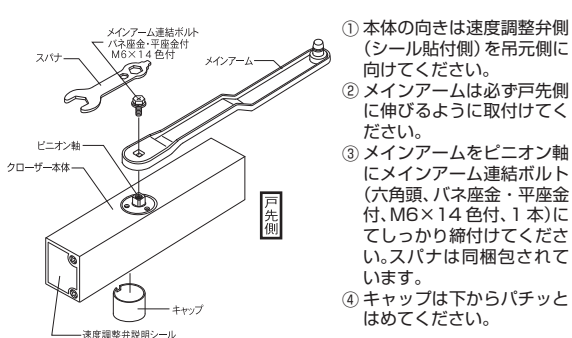


① アームブラケットを上枠(無目)に取付ねじ(丸皿頭小ねじ M5×16色付・面着剤付、4本)にて取付けてください。

#### お願い

取付ねじはしっかりと締付けてください。締付けがゆるいとアームブラケットがぐらつき、落下・故障の原因となります。

##### 3 メインアームの取付

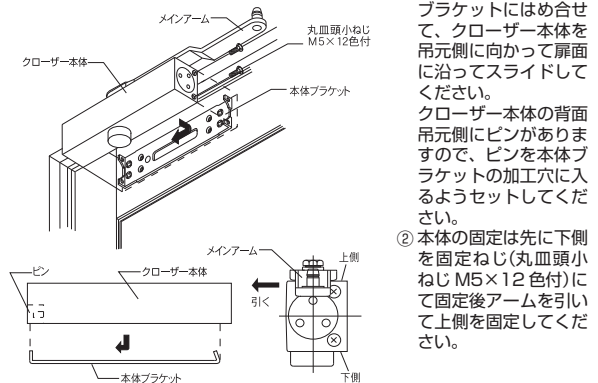


- ① 本体の向きは速度調整弁側(シール貼付側)を吊元側に向けてください。
- ② メインアームは必ず戸先側に伸びるように取付けてください。
- ③ メインアームをピン軸にメインアーム連結ボルト(六角頭、ハネ座金・平座金付、M6×14色付、1本)にてしっかりと締付けてください。スパンは同梱包されています。
- ④ キャップは下からパチッとはめてください。

#### お願い

メインアームがピン軸に入りにくい場合は、ピン軸にメインアームの角穴をあてがい、連結ボルトにてねじ込んでください。ハンマー等でメインアームをたたいて入れるとピン軸受部を破損して、油漏れを起こし正常に機能しくなります。

##### 4 クローザー本体の取付



- ① クローザー本体を本体ブラケットにはめさせて、クローザー本体を吊元側に向かって扉面に沿ってスライドしてください。クローザー本体の背面吊元側にピンがありますので、ピンを本体ブラケットの加工穴に入るようセットしてください。
- ② 本体の固定は先に下側を固定ねじ(丸皿頭小ねじ M5×12色付)にて固定後アームを引いて上側を固定してください。

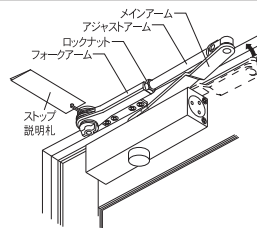
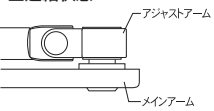
#### お願い

固定ねじはしっかりと締付けてください。

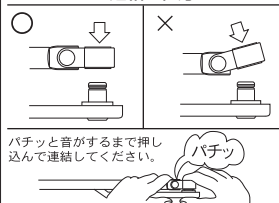
##### 5 アームの連結

###### ワンタッチジョイント

###### ■連結状態



###### ■連結の仕方



- ① アジャストアームの先端の穴にメインアームの先端のピンをはめさせて、パチッと音がするまで押し込んで連結してください。アジャストアームの先端が、上を向いているとピンに入りにくくなりますので、平行もしくは下向きにして連結してください。

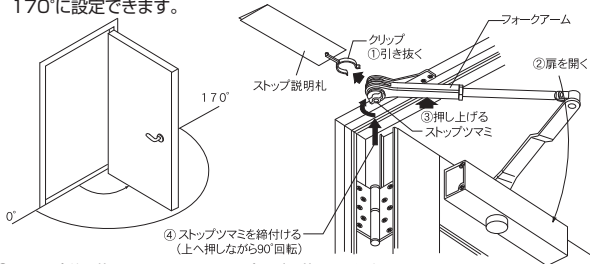
#### ご注意

連結は確実にしてください。不十分な場合、連結が外れて扉の急激な開閉により、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

## 6 ストップ角度の設定

### ワンタッチストップ

ストップ角度は約75°、85°、95°、105°、115°、125°、135°、145°、155°、170°に設定できます。

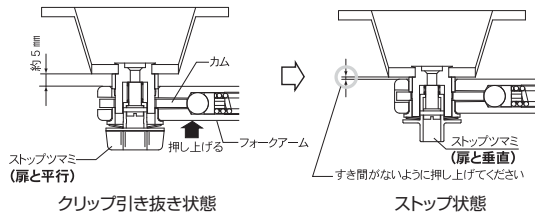


- ストップ説明札についているクリップを引き抜いてください。
- 扉をストップさせたい角度まで開いてください。
- 開いた位置でフォークアームの▲部を押し上げてください。抜いたクリップの幅の分(約5mm)上がり、フォークアームがはまり込みます。フォークアームがはまり込むとストップ仮止め状態となります。(扉から手をはなしても扉が戻らない状態になります。)

#### ポイント

フォークアームがセットしにくい場合、扉を前後にふりながら(軽く開閉させながら)セットしてください。

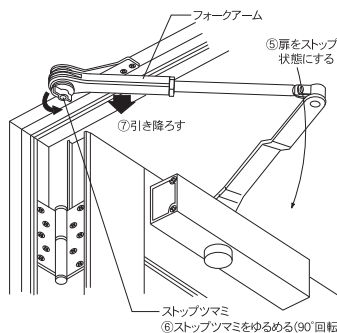
- そこでストップツマミを上へ押しながら90°回転させ、しっかり締付けてください。アームをしっかり押し上げないとツマミが回りません。



#### ポイント

アームを押しあげてからストップツマミを上へ押しながらカチッと音がするまで回す。

## ※ストップ角度を変更(再設定)する場合



- 扉を開きストップ状態にしてください。
- ストップツマミを90°回転させ、締付けを外してください。
- フォークアームをいっばいに引き降ろすとストップ機能が解除され設定前の状態に戻ります。

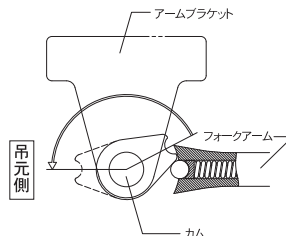
#### ポイント

フォークアームが引き降ろしにくい場合、扉を開き方向に少し押しながら、アームを引き降ろしてください。

再度手順②～④に従ってストップ角度の設定を行ってください。

## ※ストップ角度を設定しない場合(ストップなしで使用する場合)

- 一度①～④の手順でストップ機能を設定してください。
- 扉を閉じて⑥～⑦の手順でフォークアームを引き降ろしてカムをフリーな状態にしてください。
- カムの凹部を吊元側へ向けてください。
- その状態で手順③～④に従ってフォークアームを押し上げ、ストップツマミを上へ押しながら90°回転させ、しっかり締付けてください。

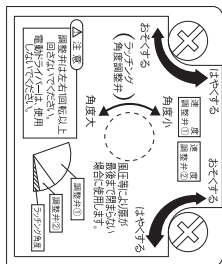
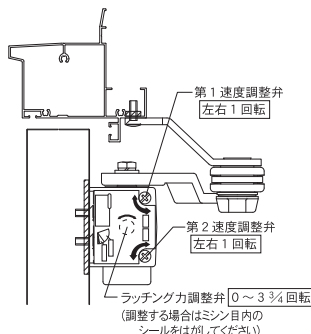


#### お願い

ストップツマミはしっかり締付けてください。不十分な場合、ストップツマミが戻り、カムとブラケットピンのかみ合いをすべらせてしまいストップ不良の原因となります。

## 7 閉じ速度の調整

●このドアクローザーは出荷段階で速度調整されており通常は調整が不要ですが、調整が必要な場合は、第1速度、第2速度、ラッチングアクションの順に行ってください。調整は次に示す図の通りに行ってください。この要領はクローザー本体の吊元側にシールで貼付してあります。



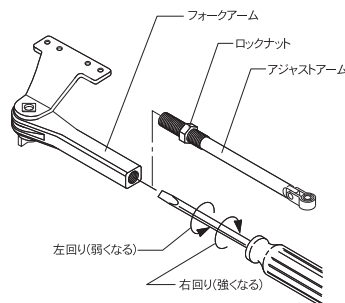
●ラッチング力は扉が閉じる寸前の閉じ力を調整するもので、角度を大きくすると閉じ力が大きくなります。1回転で約2度、最大3¾回転で約8度まで調整できます。

#### ご注意

調整弁は必要以上に回したりしないでください。ゆるめすぎると調整弁が外れ、油もれを起こし正常に機能しなくなります。電動ドライバーは、故障の原因となるため使用しないでください。

## 8 ストップ強さの調整

- あらかじめストップの強さは、調整済みです。取り付け後、調整が必要になった場合は、次の要領で行ってください。
- ロックナットを付属のスパナでゆるめます。
  - アームの連結を外し(9)アームユニットの分離参照)、アジャストアームを左に回して抜き取ります。
  - フォークアームの穴にマイナスドライバーを入れて、(1/2～1回転)回します。
  - ロックナットは付属のスパナでしっかり締付けてください。



#### お願い

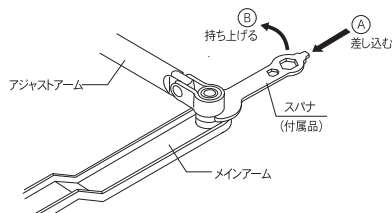
調整ねじは左右1回転以上回さないでください。故障の原因となります。

## 9 アームユニットの分離

- 下図のように付属のスパナにて、連結を外してアームユニットを分離してください。

#### お願い

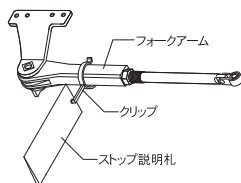
必ず付属のスパナを使用してください。付属のスパナ以外で無理に外すと故障の原因となります。



### ワンタッチジョイント

## ■工事店様へ

ストップ説明札は、ドアクローザー調整後フォークアームに掛けてお施主様にお渡しください。



## 一覧

デザイン

DH=23

スリット採光  
デザイン(S)

小窓採光  
デザイン(K)

全面ガラス採光  
デザイン(G)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

DH=20

スリット採光  
デザイン(S)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

## 電気錠仕様

特長

施工関連

発注記号



※詳細は商品に同梱包の取扱説明書を必ずご確認ください。

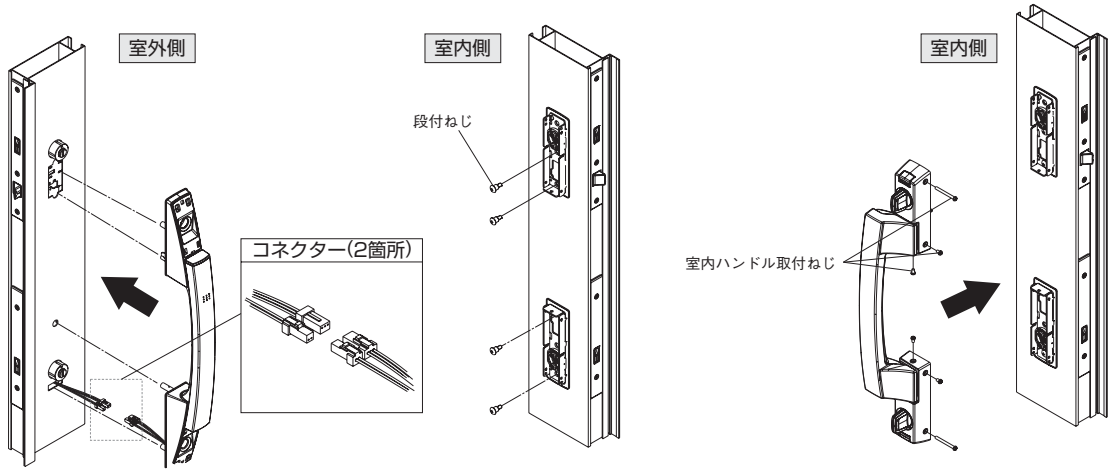
### ハンドルユニットの取付

一覧

デザイン

#### お願い

ハンドルには養生がしてありますので、施工後養生をはがしてお施主様にお引き渡しください。養生をはがす際は、カッターナイフは使用しないでください。ハンドルに傷をつけるおそれがあります。



#### 1 室外側ハンドルの取付

コネクターを2箇所接続し、扉内に押し込みながら、ハンドルを扉の切欠き穴に挿入してください。

#### 2 室外側ハンドルの固定

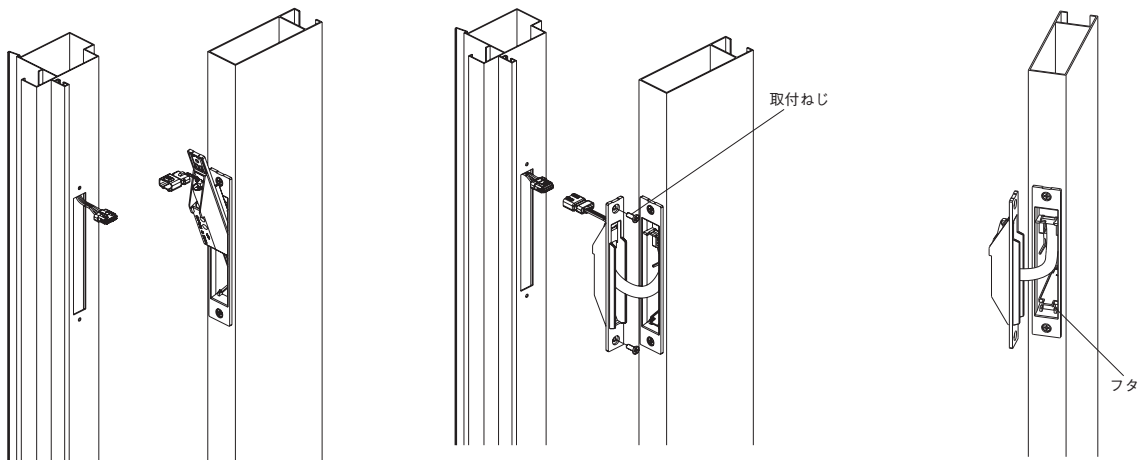
室内側より段付ねじで外側ハンドルを固定してください。  
段付ねじで止める際に、配線・コネクターをはさまないようにご注意ください。

#### 3 室内側ハンドルの取付

サムターンの向きを合せながら、ハンドルをねじで固定してください。

### 通電金具の取付

枠内配線コードは枠組立て時に通しておきます。



1 扉側の通電金具から枠側の取付部を上方向に引き出してください。

2 コネクターを接続し、枠にねじで取付けてください。

3 扉側のフタを確実に押し下げてください。

DH=23

スリット採光  
デザイン(S)

小窓採光  
デザイン(K)

全面ガラス採光  
デザイン(G)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

DH=20

スリット採光  
デザイン(S)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

電気錠仕様

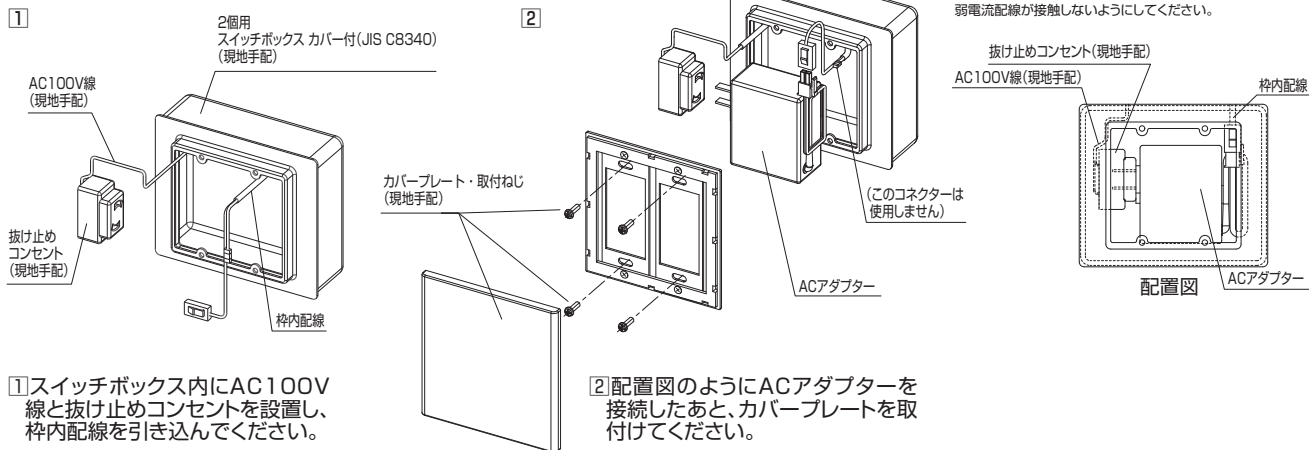
特長

施工関連

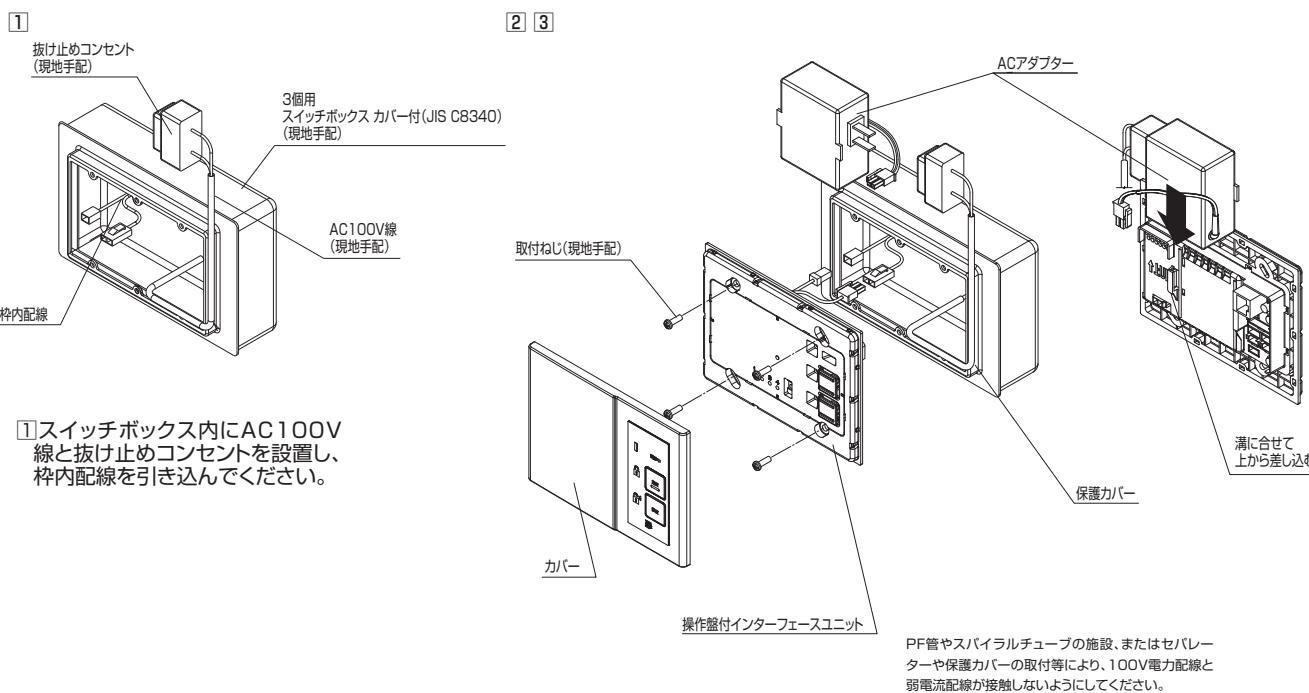
発注記号

## 電源部の施工

### ■基本仕様の場合



### ■操作盤付インターフェースユニットを使用した連動仕様(オプション)の場合



#### ■現地手配品(電源部施工時)

仕様	現地手配品内容	手配品例
基本仕様	スイッチボックス/2個用/カバー付(JIS C8340)	品番: DS4912(パナソニック製 2個用スイッチボックス カバー付)
	2個用カバープレート	品番: WTC7092W(パナソニック製 カバープレート)
	抜け止めコンセント	品番: WN1061SW(パナソニック製 埋込抜け止めコンセント)
連動仕様	操作盤付インターフェースユニット(YS KAG-B3/B4)	品番: DS4913(パナソニック製 3個用スイッチボックス カバー付)
	増設操作盤(YS KAG-B5)	品番: WN1061SW(パナソニック製 埋込抜け止めコンセント)
非常用/バッテリー(2K-49925)	1個用スイッチボックス	品番: DM8010K(パナソニック製 住宅用スイッチボックス)
	スイッチボックス/3個用/カバー付(JIS C8340)	品番: DS4913(パナソニック製 3個用スイッチボックス カバー付)

\*AC100V線および各種システム機器に必要な配線・アダプター・スイッチボックス取付ねじ等は別途お手配ください。

一覧

デザイン

DH=23

スリット採光  
デザイン(S)

小窓採光  
デザイン(K)

全面ガラス採光  
デザイン(G)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

DH=20

スリット採光  
デザイン(S)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

電気錠仕様

特長

施工関連

発注記号

※詳細は商品に同梱包の取扱説明書を必ずご確認ください。

### ピタットKey(カード/シール)の登録方法

一覧

デザイン

- ・工場出荷時は同梱のピタットKey(カード/シール)は登録されていません。
  - ・使用するピタットKey(カード/シール)を全て登録してください。
  - ・防犯の配慮のため、お施主様によって登録を行うことを推奨します。
- ※登録作業を行うことで、工事期間中あるいは動作確認のために登録されたピタットKey(カード/シール)の情報は全て消去されます。

DH=23

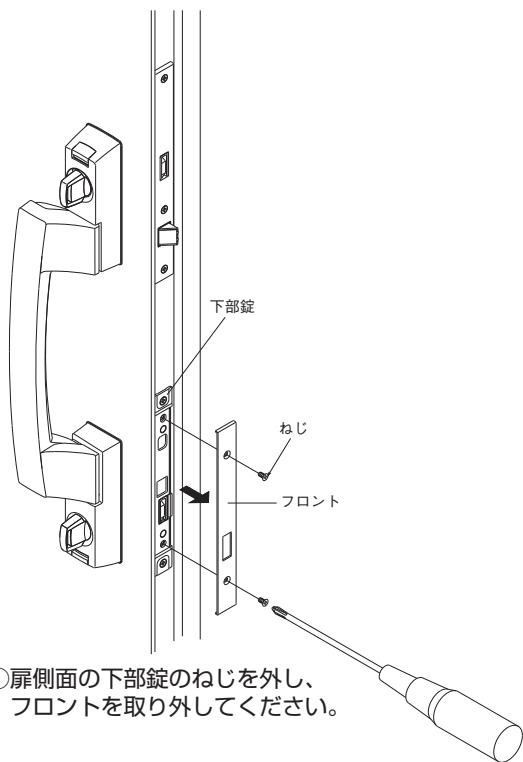
スリット採光  
デザイン(S)

小窓採光  
デザイン(K)

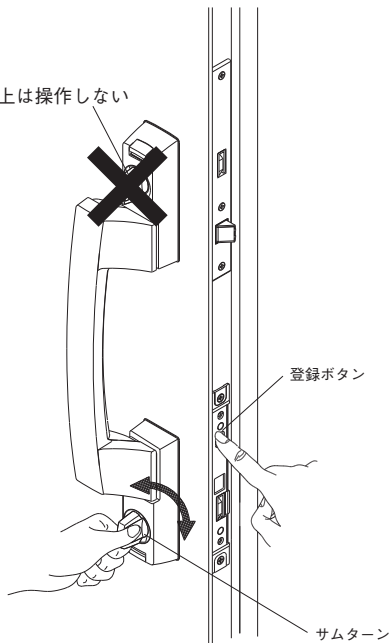
全面ガラス採光  
デザイン(G)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)



※上は操作しない

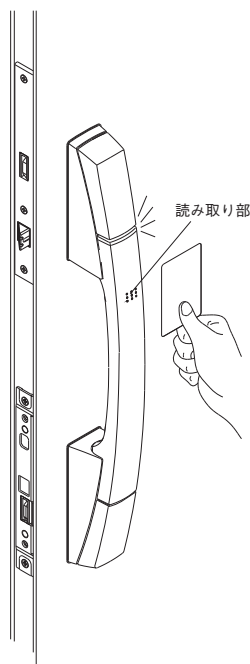


DH=20

スリット採光  
デザイン(S)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)



- ④続けて2枚目、3枚目とピタットKey(カード/シール)を近づけることで最大20枚まで登録できます。10秒経過するとLEDが消え、登録完了となります。(標準でピタットKey(カード3枚/シール2枚)を付属しています。)

- ⑤登録完了後はフロントを忘れずに取付けてください。

※どれか1枚を再登録すると、以前登録されていたピタットKey(カード/シール)の情報は全て消去されます。

※登録作業中に上部のサムターンは操作しないでください。  
自動施錠モードに切替わる場合があり、閉め出されるおそれがあります。  
自動施錠モードについては、取扱説明書をご覧ください。

※ピタットKey(カード/シール)は1枚ずつ登録してください。  
ピタットKey(カード)や(シール)を重ねての登録はできません。

電気錠仕様

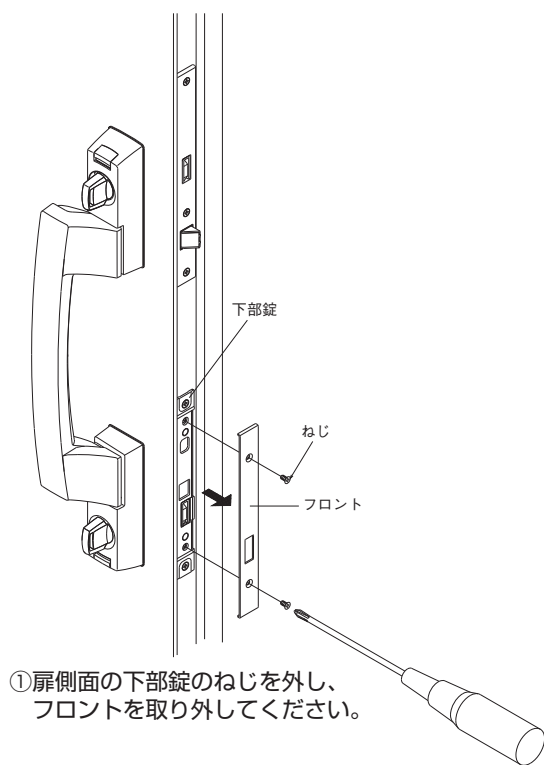
特長

施工関連

発注記号

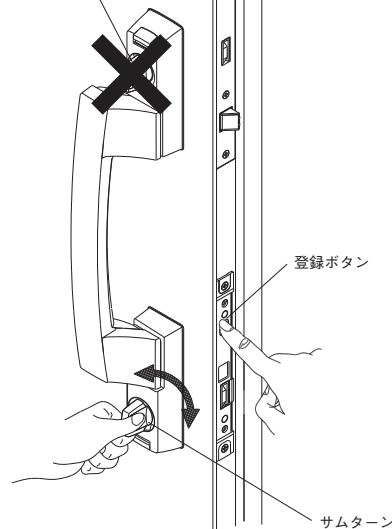
## ポケットKeyの登録方法

- ・工場出荷時は同梱のポケットKeyは登録されていません。
  - ・使用するポケットKeyを全て登録してください。
  - ・防犯の配慮のため、お施主様によって登録を行うことを推奨します。
- ※登録作業を行うことで、工事期間中あるいは動作確認のために登録されたポケットKeyの情報は全て消去されます。

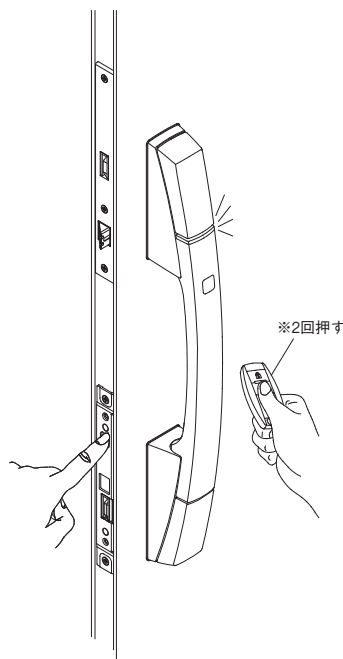


- ①扉側面の下部錠のねじを外し、フロントを取り外してください。

※上は操作しない



- ②登録ボタンを押しながら、下部のサムターンを解錠状態<タテ>から施錠状態<ヨコ>→解錠状態<タテ>と操作します。



- ③室外側ハンドルのLEDが赤・緑の交互点滅をしている間に再度、登録ボタンを押しながら、ポケットKeyのボタン(施錠・解錠どちらでも可)を2回続けて押してください。

- ④続けて2個目、3個目とポケットKeyを登録することで最大8個まで登録できます。10秒経過するとLEDが消え、登録完了となります。(標準でポケットKey3個を付属しています。)

- ⑤登録完了後はフロントを忘れずに取付けてください。

※どれか1個を再登録すると、以前登録されていたポケットKeyの情報は全て消去されます。

※登録作業中に上部のサムターンは操作しないでください。自動施錠モードに切替わる場合があり、閉め出されるおそれがあります。自動施錠モードについては、取扱説明書をご覧ください。

一覧

デザイン

DH=23

スリット採光  
デザイン(S)

小窓採光  
デザイン(K)

全面ガラス採光  
デザイン(G)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

DH=20

スリット採光  
デザイン(S)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

電気錠仕様

特長

施工関連

発注記号

※詳細は商品に同梱の取扱説明書を必ずご確認ください。

### アングル(別売品)の取付

単位: mm

#### 1 額縁の切断

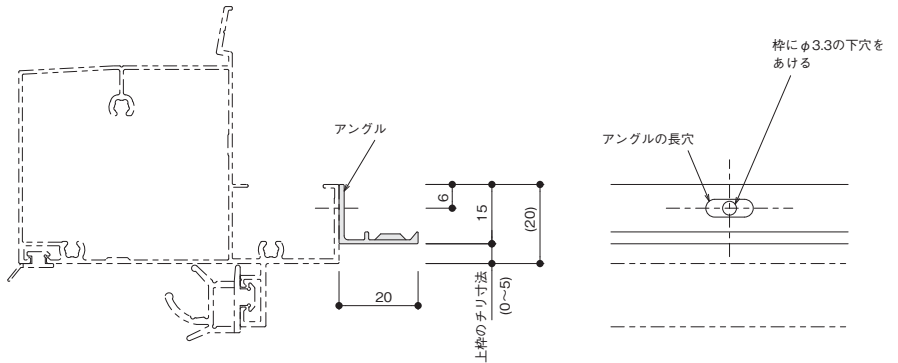
納まり・チリ寸法を確認し、アングルを商品本体(ドア枠)および納まりに合わせて切断してください。

#### 2 下穴(φ3.3)の加工

アングルをドア枠に合せ、アングルの長穴から現合にてドア枠に下穴(φ3.3)を加工してください。

#### お願い

加工の際、アンカー取付ねじ等の取付部品を破損しないよう注意して下穴を加工してください。

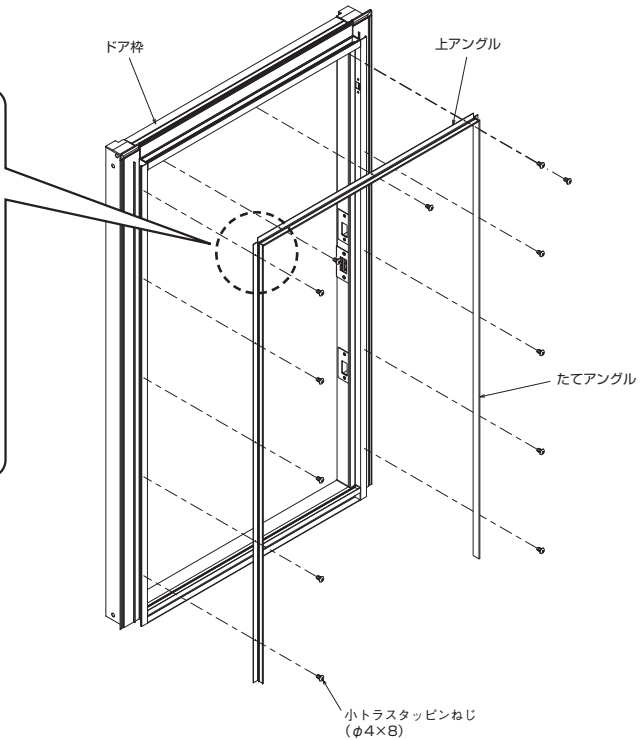
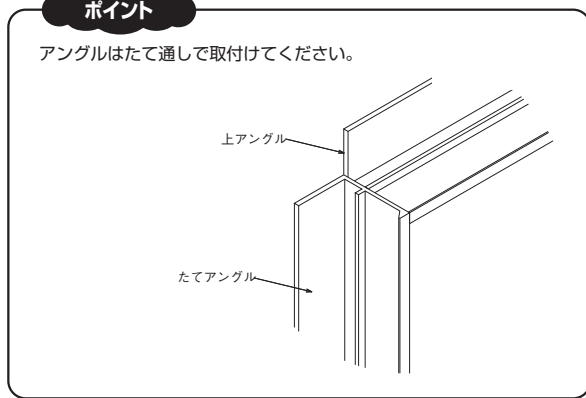


#### 3 アングルの固定

アングルをドア枠に取付けてください。

#### ポイント

アングルはたて通しで取付けてください。



#### ポイント

本セットは、商品本体(ドア枠)サイズがW=1,694、H=2,330のチリ寸法10mmに合わせてあります。他のサイズの場合は、切詰めに合わせてください。

#### 室内額縁用アングル



上用(L=1,664) ..... 1本  
たて用(L=2,333) ..... 2本  
※取付用穴(長穴)および、室内額縁取付用穴(皿絞穴)は加工済です。

一覧

デザイン

DH=23

スリット採光  
デザイン(S)

小窓採光  
デザイン(K)

全面ガラス採光  
デザイン(G)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

DH=20

スリット採光  
デザイン(S)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

電気錠仕様

特長

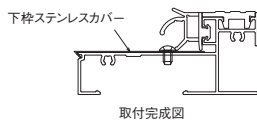
施工関連

発注記号

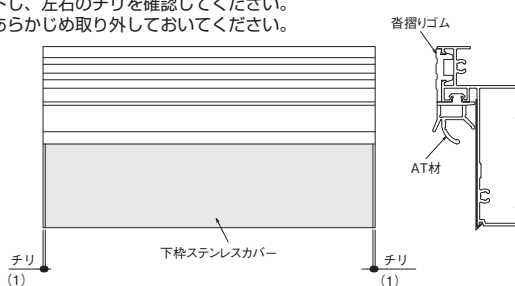
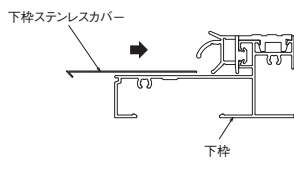
## 下枠ステンレスカバー(オプション)の取付

単位: mm

一覧



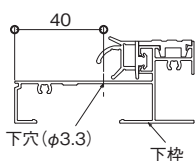
① 下枠ステンレスカバーを下枠にセットし、左右のチリを確認してください。  
親子枠の場合、フランス落し受けはあらかじめ取り外しておいてください。



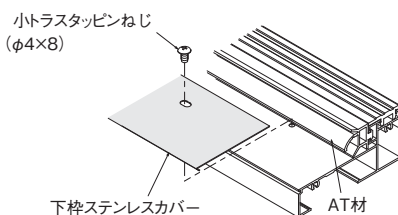
### お願い

- 下枠ステンレスカバーは、枠組立前に下枠に取付けてください。枠組立後および施工後は、取付きません。
- 下枠ステンレスカバーは、厚さ0.5mmです。手を傷つけないように十分にお気をつけください。

② 下枠に現合でφ3.3の下穴をあけてください。



③ ねじで下枠ステンレスカバーを締付けてください。



④ 親子枠の場合、フランス落し受けを止めてください。

### ご注意

ねじで締付ける際は、AT材を切らないようにしてください。

デザイン

DH=23

スリット採光  
デザイン(S)

小窓採光  
デザイン(K)

全面ガラス採光  
デザイン(G)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

## 下枠幅木(オプション)・部品の取付

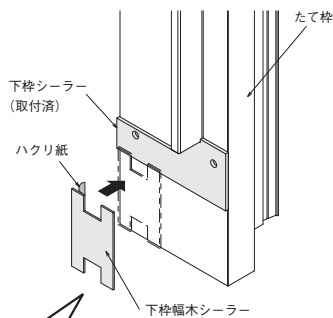
単位: mm

DH=20

● 本商品は、一般仕様枠の場合のみ取付けできます。フラット枠には、取付けできません。ご注意ください。

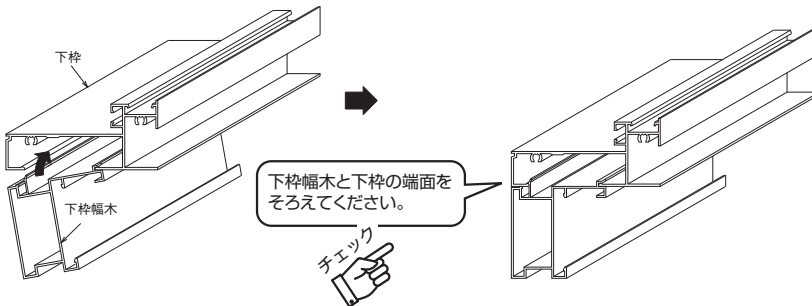
### お願い

下枠幅木は、枠組立前に下枠に取付けてください。  
枠組立後・施工後は取付きません。



### ② 幅木の取付

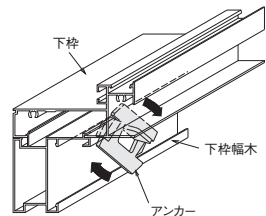
3尺間口枠・4.5尺入隅枠・6尺袖付親子枠に使用の場合は、取付前に下枠幅木を所定の寸法に切詰めてください。



### ポイント

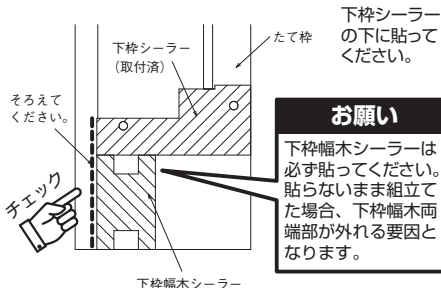
- 下枠幅木ℓ寸法(ℓ=W-41)は、下枠と同じ長さです。
- 取付けが難しい時は、木片を当てて木づちでたたいて入れてください。

### アンカーを取付ける場合



アンカーは、別売品の四方枠用アンカーセット(DJB-101-D)に同梱されています。

### ① 下枠幅木シーラーの貼付



下枠シーラーの下に貼ってください。

### お願い

下枠幅木シーラーは必ず貼ってください。貼らないまま組立てた場合、下枠幅木両端部が外れる要因となります。

③ 本体(枠)を組立ててください。

(以下、本体組立説明書を参照してください。)

### お願い

施工完了まで下枠に足を掛けないで(踏まないで)ください。  
下枠が、ころんだり変形するおそれがあります。



スリット採光  
デザイン(S)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

電気錠仕様

特長

施工関連

発注記号

※詳細は商品に同梱包の取扱説明書を必ずご確認ください。

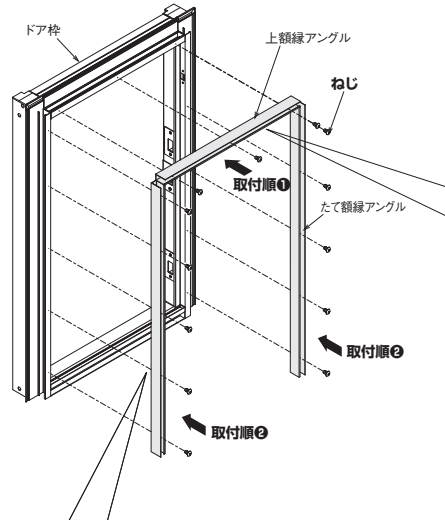
### アルミ室内額縁(オプション)の組立、取付

単位: mm

一覧

デザイン

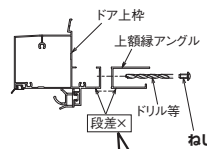
#### 1 額縁アングルの取付



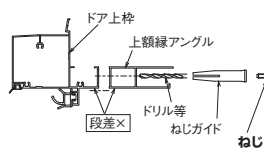
##### ①上額縁アングルの取付

ドア上枠本体に場合でφ3.3の下穴をあけ、ねじで取付けてください。  
(額縁アングルは、横通しとなります。)

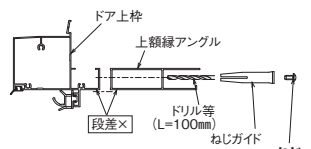
##### ●室内額縁(小)仕様の場合



##### ●室内額縁(中)仕様の場合

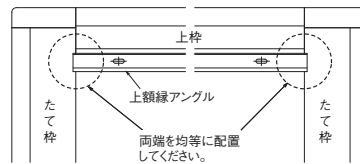
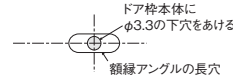


##### ●室内額縁(大)仕様の場合



##### ポイント

面一で揃うように加工・取付を行ってください。

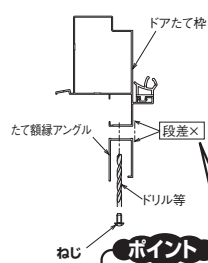


室内額縁(中/大)仕様でねじを取付けの際、必要に応じてねじガイドを使用してください。

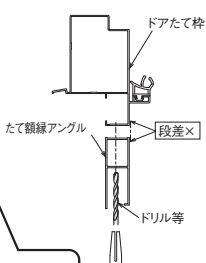
##### ②たて額縁アングルの取付

たて額縁アングルを上額縁アングルに当てながら、ドアたて枠本体に場合でφ3.3の下穴をあけ、ねじで取付けてください。  
(額縁アングルは、横通しとなります。)

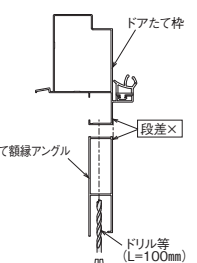
##### ●室内額縁(小)仕様の場合



##### ●室内額縁(中)仕様の場合

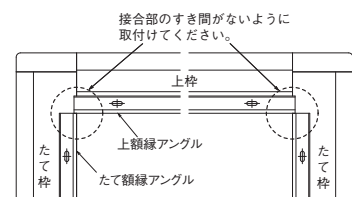


##### ●室内額縁(大)仕様の場合



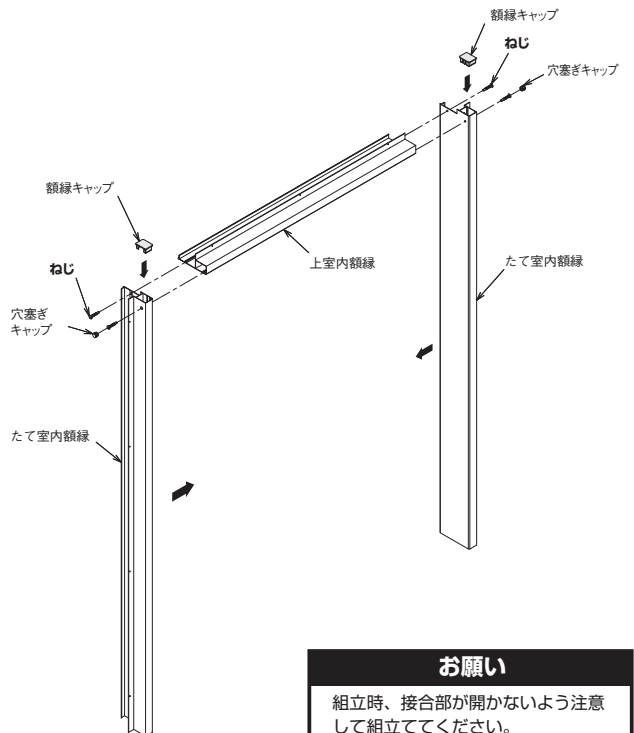
##### ポイント

面一で揃うように加工・取付を行ってください。



室内額縁(中/大)仕様でねじを取付けの際、必要に応じてねじガイドを使用してください。

#### 2 室内額縁の組立



##### お願い

組立時、接合部が開かないよう注意して組立ててください。

DH=23

スリット採光  
デザイン(S)

小窓採光  
デザイン(K)

全面ガラス採光  
デザイン(G)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

DH=20

スリット採光  
デザイン(S)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

電気錠仕様

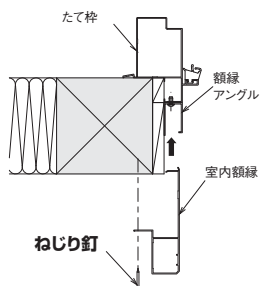
特長

施工関連

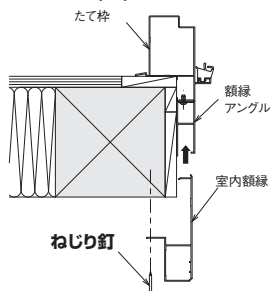
発注記号

## アルミ室内額縁(オプション)のドア枠、躯体への取付

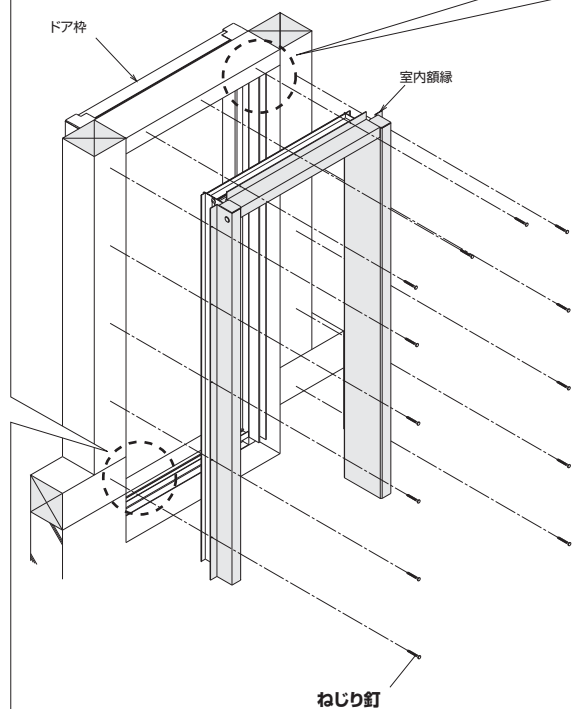
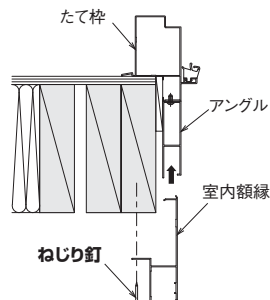
### ●室内額縁(小)仕様の場合



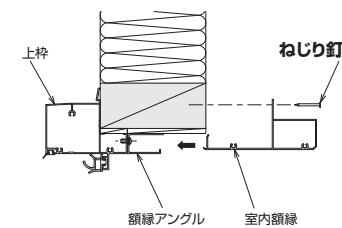
### ●室内額縁(中)仕様の場合



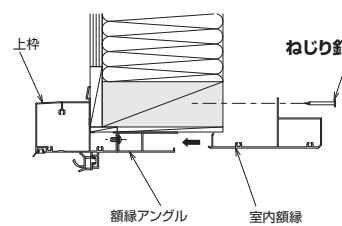
### ●室内額縁(大)仕様の場合



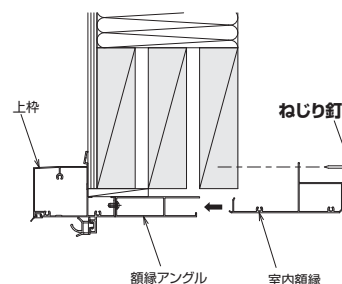
### ●室内額縁(小)仕様の場合



### ●室内額縁(中)仕様の場合



### ●室内額縁(大)仕様の場合



### お願い

室内額縁は、躯体(柱)に確実に固定してください。  
室内額縁をアングルに差込んだだけでは、固定されません。

一覧

デザイン

DH=23

スリット採光  
デザイン(S)

小窓採光  
デザイン(K)

全面ガラス採光  
デザイン(G)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

DH=20

スリット採光  
デザイン(S)

板張り  
デザイン(W)

上部採光  
デザイン(U)

電気錠仕様

特長

施工関連

発注記号